

余白の中央、12ポイント、ゴシック体

分科会名・研究課題：12ポイント、ゴシック体

研究領域Ⅱ [教育課程] 第4分科会提案資料

タイトル：16ポイント程度、ゴシック体

第1行

知性・創造性：知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメント

学びをつなぎ、たくましく生きる力を育む教育課程の創造

～保小連携・学校間連携を通して～

必要に応じて副題：14ポイント程度、ゴシック体

第7行、提案者・市町村名・校名：12ポイント、明朝体

名前：14ポイント、明朝体

提案者 ○○市 △△小学校長 ○ ○ ○ ○

第8行アケル

本文：第9行からスタート

1 はじめに

子どもたちに自ら学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する能力や豊かな人間性等の「生きる力」を育むためには、知・徳・体のバランスのとれた取り組みを進めることが重要である。また、開かれた学校づくりを進める上で、学校同士が相互に連携を図り、積極的に交流を深めることによって、学校生活をより豊かにするとともに、児童の人間関係や経験を広げる等広い視野に立った適切な教育活動を進めていくことも求められる。

3町からなる○○郡においては、過疎化・高齢化・少子化がより一層進む中、町村合併や学校統合が進み、小学校数は12校となった。小規模
※ 図表や写真を添付する際は、本文にかからぬよう配慮する。
※ 図表や写真を用いた場合はその元版を必ずメールで送付する。

また、小1プロブレムと言われる中、就学前教育と学校教育の間の段差をなめらかにし、保育所と小学校が連携を図りながら、関わり合い、たくましく生きる力を育む教育活動を展開したい。そこで、保育所と小学校、小学校間等で連携し、学びをつなぎ、よりよく関わり合いながら、たくましく生きる子ども

もを育てる教育課程のあり方について究明する。

大きな区切りで1行あける

2 研究の概要

(1) 小学校間の連携による取り組み：日南町における集合学習

① 集合学習のねらい

小規模校のもつよさと多人数による学習の長所を重ね合わせることにより、学校生活をより豊かに充実したものにすることをめざす。

ア より大きな集団の形成により期待されるもの

- ・多様な情報の中で錬磨、集団の練り合い(社会性 視野の拡大)
- ・適切な指導組織(TT等)による指導(学習効果)
- ・交流の拡大の効果(自己発見 連帯感)
- イ 教師の協業化と研修体制の拡大により期待されるもの
- ・教師の特技・特性の発揮
- ・指導方法の工夫改善
- ・教育課程の共同編成

① 集合学習の実際

- ・山の上集合学習・・・3校合同、低中高 各教科, 特活 年間4回
- ・石見谷集合学習・・・3校合同、低中高 各教科, 学活, 総合 年間3回
- ・ハッピースマイル集合学習・・・2校 低中高 障害児学級

～ 段間4文字分あける ～